

# 福岡県西方沖地震記録誌

【20年版】



－ 刊行にあたって －

平成17年3月20日、午前10時53分、福岡市北西の玄界灘を震源とするマグニチュード7.0の「福岡県西方沖地震」が発生してから3年以上が経過しました。この地震は、福岡市での観測史上最大の地震であり、九州北部を中心に大きな被害をもたらし、本市では1名の方がお亡くなりになるとともに、1,038名の方が負傷されました。また、5,200棟以上の住宅被害のほか、漁港や港湾、道路などの公共施設にも大きな被害をもたらしました。

本市は、地震発生後直ちに「福岡市災害対策本部」を設置し、防災関係機関等と緊密に連携しながら応急対策にあたりるとともに、4月12日には「福岡市地震災害復旧・復興本部」を設置し、市民生活や事業活動の早期の回復・安定、公共施設の復旧などに全力を挙げて取り組んでまいりました。

これまでの間、国・県の各機関、市民の皆様、企業や団体、ボランティアなど市内外の多くのご支援、ご協力をいただいたことで、市民生活も概ね平常を取り戻し、一部の施設を除き、公共施設の復旧も完了いたしました。

特に被害が集中した玄界島につきましても、住民の皆さんとの協働により復興事業が進み、小規模住宅地区改良事業の完了により、平成20年3月25日には全島民の帰島が終了しました。また、平成21年4月には、小・中学校の本校舎が開校する予定であり、着実に復興の道を進んでおります。

本市では、毎年3月20日を「市民防災の日」と定め、地震災害の経験を風化させることなく、防災関係機関や市民の皆様とともに平素からの防災・減災への取り組みを進めているところでありますが、今後もさらに災害に強く安全なまちづくりに努めてまいりますので、皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本誌の作成にあたり貴重な資料をご提供いただきました多くの機関や団体に、心より感謝申し上げます。

平成20年9月

福岡市長 吉田 宏



# 目 次

第1部 地震の概要	1
第1章 地震の概要	2
第2章 地勢、過去の地震	6
第3章 被害の概要	8
第1節 人的被害の概要	8
第2節 住家被害の概要	8
第3節 公共施設被害の概要	9
第2部 災害応急対策	11
第1章 応急活動	12
第1節 災害対策本部の設置と初期活動	12
第2節 職員の動員及び配備	15
第2章 情報の収集・伝達活動	20
第3章 広報活動	22
第4章 消防活動	28
第5章 応急医療救護活動	32
第6章 避難対策	35
第1節 避難勧告	35
第2節 玄界島における警戒区域の設定	36
第3節 避難所の設置及び運営	36
第7章 生活救護対策	46
第1節 救助費の実績	46
第2節 住宅対策	47
第3節 被災建物応急危険度判定	52
第4節 被災住宅地危険度判定	54
第5節 家屋被害調査	56
第8章 民間団体・ボランティア活動	60
第9章 要援護者対策	65
第10章 保健衛生対策	70
第1節 被災者に対する心と身体のケア	70
第2節 生活衛生対策	73
第11章 清掃対策	76
第12章 応急教育対策	80
第13章 各区における活動状況	81
第1節 東 区	81
第2節 博多区	85
第3節 中央区	88
第4節 南 区	92

第5節	城南区	95
第6節	早良区	98
第7節	西 区	101
<b>第3部</b>	<b>公共施設・ライフライン等の被害及び復旧並びに関係機関の応急活動</b>	<b>107</b>
第1章	公共施設等	108
第1節	河川	108
第2節	道路	109
第3節	港湾・海岸	111
第4節	漁港等	114
第5節	下水道	116
第6節	学校	117
第7節	その他の公共施設	118
第8節	市内事業所（中小企業，商店街等）被害について	124
第2章	ライフライン	126
第1節	九州電力（株）	126
第2節	西日本電信電話（株）	130
第3節	西部ガス（株）	132
第4節	福岡県L Pガス協会福岡支部	137
第3章	交通機関	140
第1節	西日本旅客鉄道（株）	140
第2節	西日本鉄道（株）	141
第3節	福岡市交通局	142
第4章	防災関係機関の対応状況	144
第1節	自衛隊	144
第2節	福岡海上保安部	148
第3節	国土交通省九州地方整備局 博多港湾・空港整備事務所	151
第4節	国土交通省九州地方整備局福岡国道事務所	158
第5節	福岡中央郵便局	160
第6節	日本赤十字社福岡県支部	162
第7節	福岡県警察	164
<b>第4部</b>	<b>被災者の救援及び生活支援対策</b>	<b>169</b>
第1章	被災者支援策の実施	170
第1節	被災住宅再建支援	170
第2節	中小企業・農林漁業等支援	172
第3節	被災者生活支援策申込状況	174
第4節	応急仮設住宅生活支援	176
第5節	市税等の減免等	179
第2章	救援物資の受付・配布	182

第3章 義援金の受入・配分 .....	185
第4章 災害見舞金等の支給 .....	189
<b>第5部 復興へ向けて .....</b>	<b>191</b>
第1章 福岡市地震災害復旧・復興本部の設置 .....	192
第2章 国・県に対する提言, 要望 .....	194
第3章 財政措置 .....	196
第4章 福岡市議会の対応 .....	199
第5章 玄界島復興事業計画 .....	206
第6章 震災に強いまちづくりを目指して .....	216
第1節 地域防災計画の見直し .....	216
第2節 警固断層の調査検討 .....	220
第3節 公共施設の耐震化推進 .....	222
第4節 民間建築物の耐震化促進 .....	228
第7章 復興へ向けた催事 .....	232
<b>資料編 .....</b>	<b>237</b>
住家被害分布図 .....	238
新聞記事 .....	260
ふくおか市政だより .....	264
玄界島復興だより .....	282





## 福岡市勢概要

### 1 自然環境

福岡市は、東経130° 24′ 06″，北緯33° 35′ 24″ にあり，わが国の主要都市（大阪，東京，札幌）までの距離と，東アジアの主要都市（釜山，ソウル，上海，北京，台北など）までの距離とがほぼ同じ範囲内にあるため，国際線の定期航空路線も多く，韓国，中国をはじめ，アジア諸国との交流には最適の位置といえます。

北は玄界灘に臨み，海の中道と糸島半島によって仕切られた博多湾を擁し，南は脊振山地，東は三郡山地に囲まれた半月型の福岡平野に位置しています。博多湾に注ぐ川は，多々良川，那珂川，室見川など数多くありますが，いずれも中小河川です。

気候は年平均18.0℃（平成19年）と比較的温暖です。

福岡市の人口は年々増加しており，平成20年4月1日現在（推計）で1,429,909人，世帯数は677,749世帯です。

また年齢構成は，平成17年国勢調査結果によると，年少人口（0～14歳）13.4%，生産年齢人口（15～64歳）70.2%，高齢人口（65歳以上）15.2%の比率構成となっており政令指定都市の中では，比較的若い年齢構成で，平均年齢は40.3歳です。

### 2 各区の面積・世帯数・人口

平成20年4月1日現在

区	面積 (H)	世帯数 (参考)	推計人口		
			総数	男	女
全市	340.96	677,749	1,429,909	684,286	745,623
東区	67.62	127,579	283,092	140,485	142,607
博多区	31.47	112,507	203,444	100,196	103,248
中央区	15.16	100,872	172,646	76,706	95,940
南区	30.98	111,801	246,901	116,153	130,748
城南区	16.02	62,042	128,775	62,763	66,012
早良区	95.88	90,018	211,146	100,145	111,001
西区	83.83	72,930	183,905	87,838	96,067

(注) 1. 推計人口は平成17年国勢調査人口（確定値）を基礎として毎月の住民基本台帳及び外国人登録の異動状況等から算出した人口

2. 世帯数は人口と同じ方法で算出しているが，世帯の定義が国勢調査と住民基本台帳及び外国人登録とで若干の相違があるので参考として挙げている。

3. 面積は平成19年10月1日現在（国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」）



